2011 阿蘇カルデラツーリズム博覧会

阿蘇 ゆるっと博™

ASO Caldera Tourism

2011.3.12 ⋙ 2012.3.31

阿蘇をまるごと会場にした、滞在型の旅の博覧会。

阿蘇くじゅうの９市町村が一体となって開催する『阿蘇ゆるっと博』。最大の特徴は、阿蘇の大フィールドそのものが博覧会の会場ということ。ダイナミックな阿蘇の山々や草原などの自然、個性あふれる温泉と旅館、いろんなタイプから選べる農家民宿、地元の人との交流が楽しみな街歩き。会場もおもてなしする人も“ありのままの阿蘇”の魅力を見直して『阿蘇･旅の市場』に結集。多彩なコンテンツ（情報）をもとに地元コンシェルジュ（案内人）が提案する移動手段や宿泊先、楽しみ方の中から自分らしい時間の過ごし方を組み立てられる、“新しい旅のカタチ”です。

こうした取り組みが始まったのは平成１４年の『スローな阿蘇づくり・阿蘇カルデラツーリズム』から。以降、市町村や県境を越えたネットワークで“分かりやすい・歩きやすい・過ごしやすい”滞在交流型観光地づくりが進められてきました。そして２０１１年、いよいよ九州新幹線の鹿児島ルートが全線開業。関西・関東方面からのアクセスが身近になり、阿蘇くじゅうを旅するには絶好の機会です。慌ただしい日常を離れ、“ゆるっと”巡ることで本当のよさが見えてくる……。それは旅行者はもちろん、お迎えする人々にとってもワクワクする“出会いの祭典”なのです。

阿蘇 ゆるっと博™とは

Attention 1 2011年3年12日から ぐっと身近になる阿蘇で開催

九州新幹線の鹿児島ルートが 2011 年 3 月 12 日に全線開業。関西はもちろん、関東からも気軽に阿蘇旅が楽しめるようになります。

Attention 2 パビリオンのない 博覧会!?

「阿蘇ゆるっと博」では、阿蘇くじゅうの大フィールドを会場にして自然や農村、商店街、温泉街をパビリオンに見立てたというユニークなスタイル。

Attention 3 コンテンツ充実だからこそ “ゆるっと”滞在できる

感動の体験コンテンツも、移動が楽しくなる交通手段も、選びきれないほど充実。早朝の雲海、満天の星空やホタル狩りなど、“ゆるっと”滞在すれば感動もひとしおです。

Attention 4 訪れる人と迎える人が 一緒に作り上げる旅のスタイル

旅づくりから当日の案内までを地元の人々がサポート。なかでも市町村の枠を越えてネットワークを組む各エリアのコンシェルジュたちは、旅の心強いサポーターです。

高森町では４つのパビリオンを中心に展開！

『阿蘇ゆるっと博』の“パビリオン”とは、阿蘇くじゅうエリア全域に散らばる自然のフィールドや農村集落、商店街、温泉街など、従来の地域を拠点としたものです。高森町では「高森商店街」、「根子岳山麓」、「らくだ山山麓」、「奥阿蘇高原」の４つのパビリオンを設定し、エコツーリズムやグリーンツーリズム、タウンツーリズムなどさまざまなコンテンツで観光客の誘致を図ります。

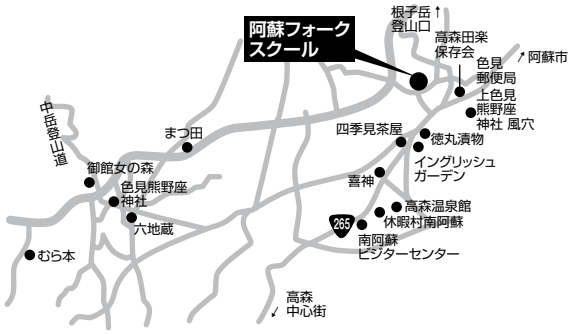
高森町コンシェルジュ
高森町観光協会
中村節子さん（永野原・幸子）

根子岳山麓パビリオン

案内所

阿蘇フォークスクール

コンシェルジュ
阿蘇フォークスクール
土井将年さん（色見・戸狩）

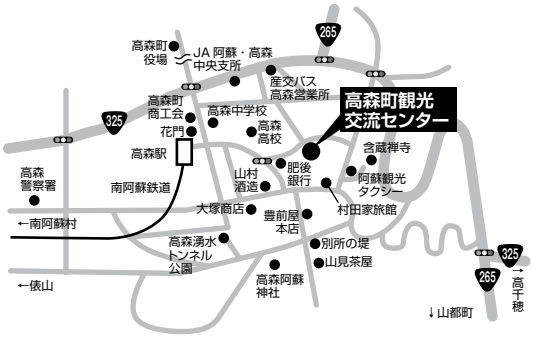


高森商店街パビリオン

案内所

高森町観光交流センター

コンシェルジュ
高森町観光協会
住吉美智子さん（高森・下町）



奥阿蘇高原パビリオン

案内所

奥阿蘇物産館

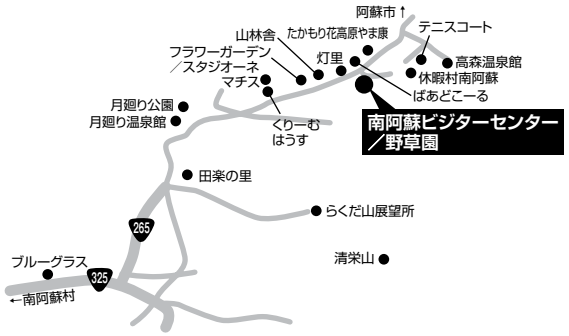
コンシェルジュ
奥阿蘇物産館支配人
甲斐一郎さん（草部・社倉）

らくだ山山麓パビリオン

案内所

南阿蘇ビジターセンター

コンシェルジュ
南阿蘇ビジターセンター
国村真希さん（高森・村山）



春夏秋冬でイベントを開催！

絶景火まつり

阿蘇ゆるっと博 オープニングイベント

絶景火まつり

開幕をダイナミックに演出する「絶景火まつり」。
メイン会場の阿蘇市の「はな阿蘇美」で、
花火など多数のサプライズイベントを用意。

2011
3/12(土)

春あそび 山歩き祭

阿蘇くじゅうのフィールドに隠された秘宝を探せ!!

阿蘇トレジャーハンティング 2011

阿蘇くじゅうのどこかに、100万円の宝が隠されている！
宝の地図を手がかりに阿蘇くじゅうの各地を探して回ろう！

2011
3/12(土)～
5/31(火)

春爛漫の『阿蘇ゆるっと博』の自然を大解剖する3カ月！

究極のエコ&ジオツアー

エコたびフェスタ

迫力満点の阿蘇火口に、原生林や草原・渓流など、
数多くの自然遺産が残る阿蘇ジオパークは、
エコトレッキングを楽しむには最高の舞台！

2011
3/12(土)・
5/31(火)

夏あそび 涼水祭

故(ふる)きを温(たず)ねて、阿蘇くじゅうの人を知る。

阿蘇まちめぐり涼水祭

暑い夏は、清らかな水源が点在する日本屈指の
湧水郷・阿蘇くじゅうを回ってみよう！
個性豊かな各地の商店街を舞台に、
お得なお買物キャンペーンやスタンプラリーを開催。

2011
6/1(水)～
8/31(水)

秋あそび 収穫祭

お腹いっぱい、阿蘇くじゅうを召し上がれ！

阿蘇スローフードフェスタ

農家レストランや農家民宿、直売所に、阿蘇くじゅうの
こだわり農作物を使った期間限定メニューがずらりと
並びます。実りの秋ならではの美味しい阿蘇くじゅうを、
思う存分、食べ尽くそう！

2011
9/1(木)～
11/30(水)

冬あそび 湯ごもり祭

阿蘇温泉郷の名湯をオトクにめぐる、湯ごもりの旅。

阿蘇温泉郷湯ごもり祭

1,500円で参加温泉に5回入湯できるお得な
「湯ごもりチケット」を期間限定で販売します。
自由気ままな湯ごもりの旅を
心ゆくまで堪能しよう！

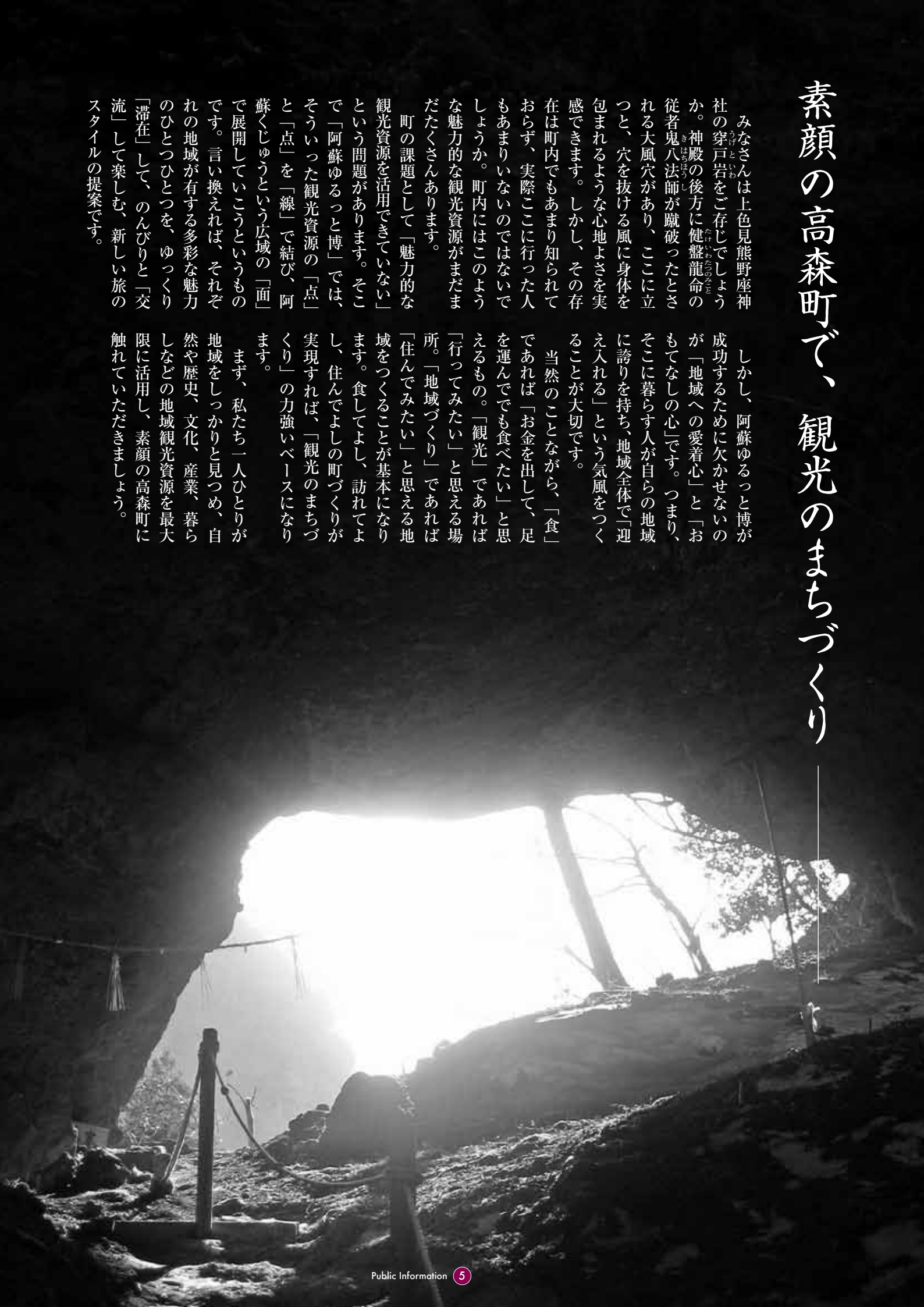
2011
12/1(木)～
2012
3/31(土)

素顔の高森町で、観光のまちづくり

みなさんは上色見熊野座神社の穿戸岩をご存じでしょうか。神殿の後方に健盤龍命の従者鬼八法師が蹴破ったとされる大風穴があり、ここに立つと、穴を抜ける風に身体を包まれるような心地よさを実感できます。しかし、その存在は町内でもあまり知られておらず、実際ここに行った人もあまりいないのではないでしょうか。町内にはこのような魅力的な観光資源がまだまだたくさんあります。

町の課題として「魅力的な観光資源を活用できていない」という問題があります。そこで「阿蘇ゆるっと博」では、そういった観光資源の「点」と「点」を「線」で結び、阿蘇くじゅうという広域の「面」で展開していこうというものです。言い換えれば、それぞれの地域が有する多彩な魅力のひとつひとつを、ゆっくり「滞在」して、のんびりと「交流」して楽しむ、新しい旅のスタイルの提案です。

しかし、阿蘇ゆるっと博が成功するために欠かせないのが「地域への愛着心」と「おもてなしの心」です。つまり、そこに暮らす人が自らの地域に誇りを持ち、地域全体で「迎え入れる」という気風をつくることが大切です。

当然のことながら、「食」であれば「お金を出して、足を運んででも食べたい」と思えるもの。「観光」であれば「行ってみたい」と思える場所。「地域づくり」であれば「住んでみたい」と思える地域をつくることが基本になります。食してよし、訪れてよし、住んでよしの町づくりが実現すれば、「観光のまちづくり」の力強いベースになります。

まず、私たち一人ひとりが地域をしっかりと見つめ、自然や歴史、文化、産業、暮らしなどの地域観光資源を最大限に活用し、素顔の高森町に触れていただきましょう。